



臨床栄養学各論 I

第10講

本講座は管理栄養士課程の必須科目ですので、
頑張って学修しましょう。

注意！

この講座の複製および二次配信を禁止します。
厳守してください。

万一複製や再配布をした場合、著作権法違反になります。

糖尿病 (Diabetes Mellitus; DM)

注射薬療法

インスリン療法；インスリン絶対的欠乏の___糖尿病
インスリン相対的欠乏の___糖尿病
_____, _____ など

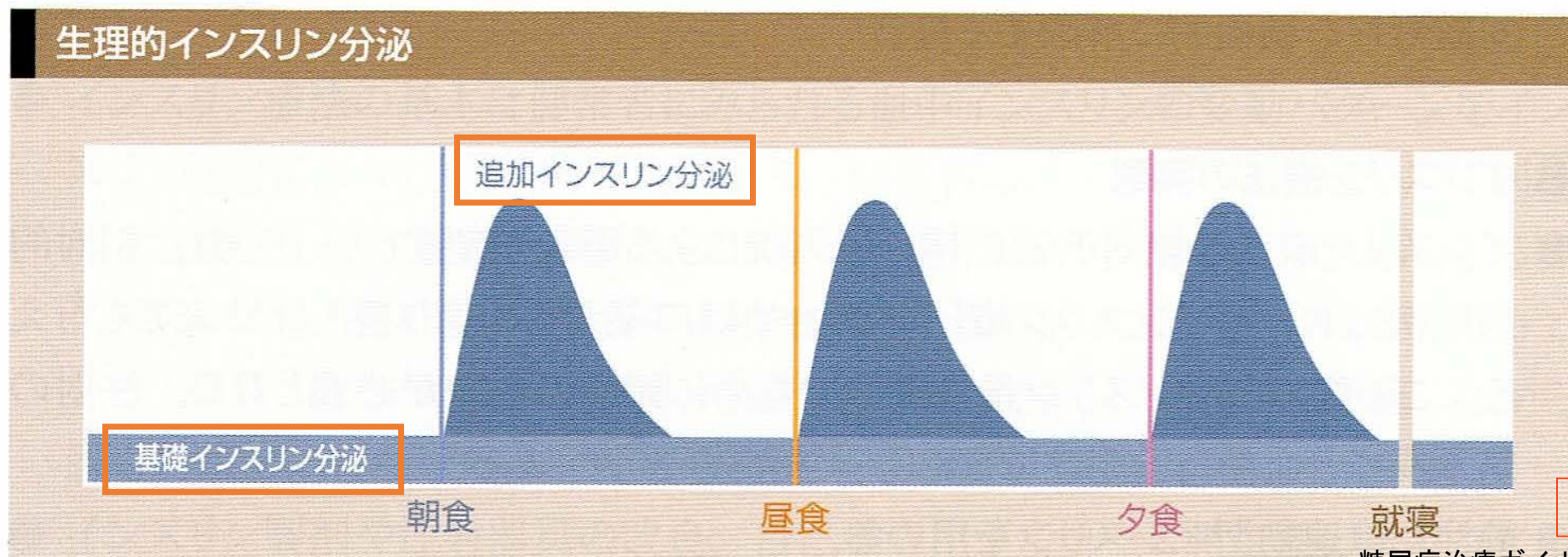
脂肪が多い場所に注射する
腹部や臀部、大腿部など

_____；インスリン分泌能のある___糖尿病
(___糖尿病への適応はない)

糖尿病 (Diabetes Mellitus;DM)

インスリン療法

目的； 健常者のインスリン分泌パターンを
インスリン注射で模倣する



再配布厳禁

糖尿病 (Diabetes Mellitus; DM)

インスリン注射薬の種類

生理的インスリン分泌

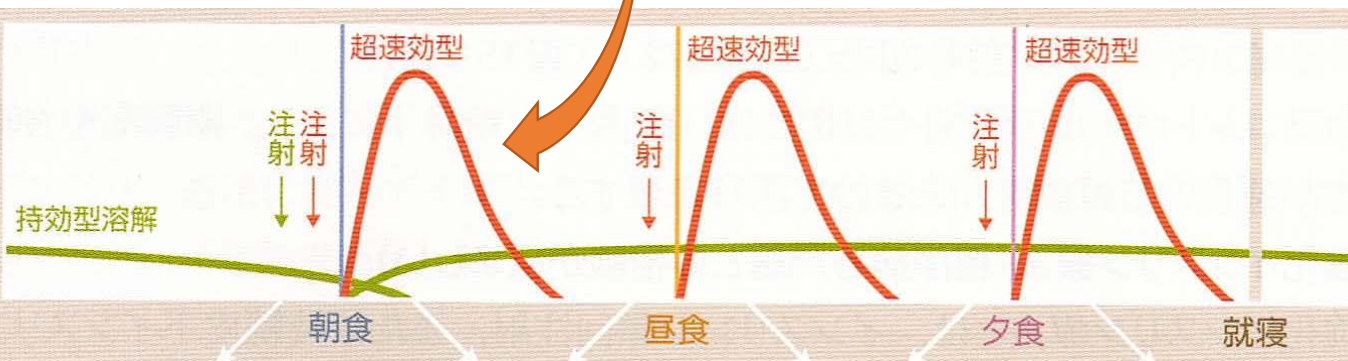


再配布厳禁

分泌



インスリン効果



分泌



糖尿病 (Diabetes Mellitus;DM)

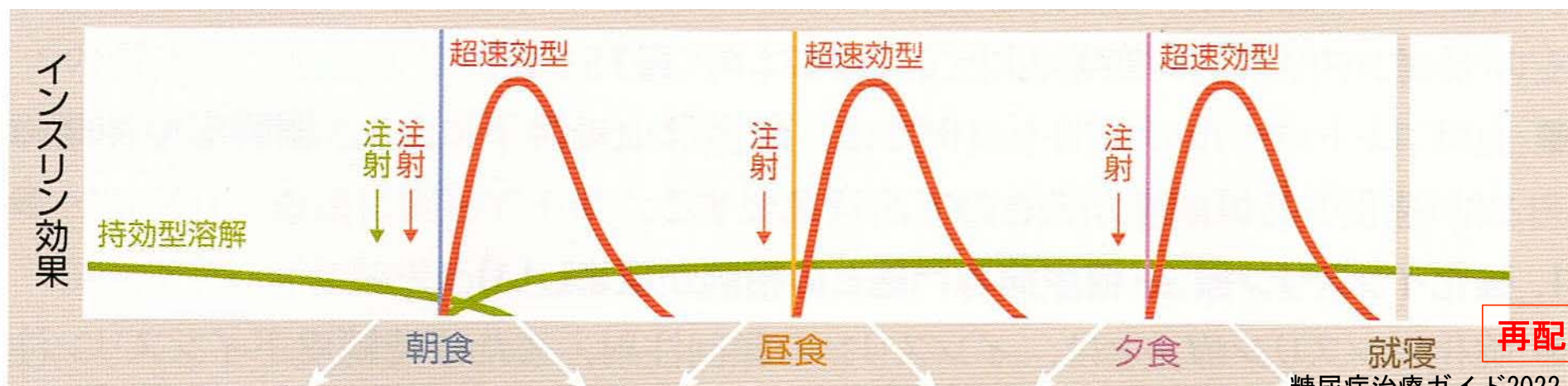
インスリン療法

目的； 健常者のインスリン分泌パターンを

インスリン注射で模倣する

生理的=自然に近い

糖尿病 (_____ 療法；最も生理的)



再配布厳禁

糖尿病 (Diabetes Mellitus; DM)

インスリン注射薬の種類

_____ (_____分泌を補う) ; _____投与
ゆっくり吸収され、ほぼ1日作用を継続する
= _____の上昇を抑える

_____ (_____分泌を補う) _____投与
作用発現が速く、作用時間が短い
= _____による血糖上昇を抑える
健常者の分泌パターンに近く、 _____

糖尿病 (Diabetes Mellitus;DM)

インスリン注射薬の種類

_____ (_____分泌を補う) _____投与

食直前投与であるため、投与後_____が遅れると
低血糖症状を起こすことがあり、注意が必要である

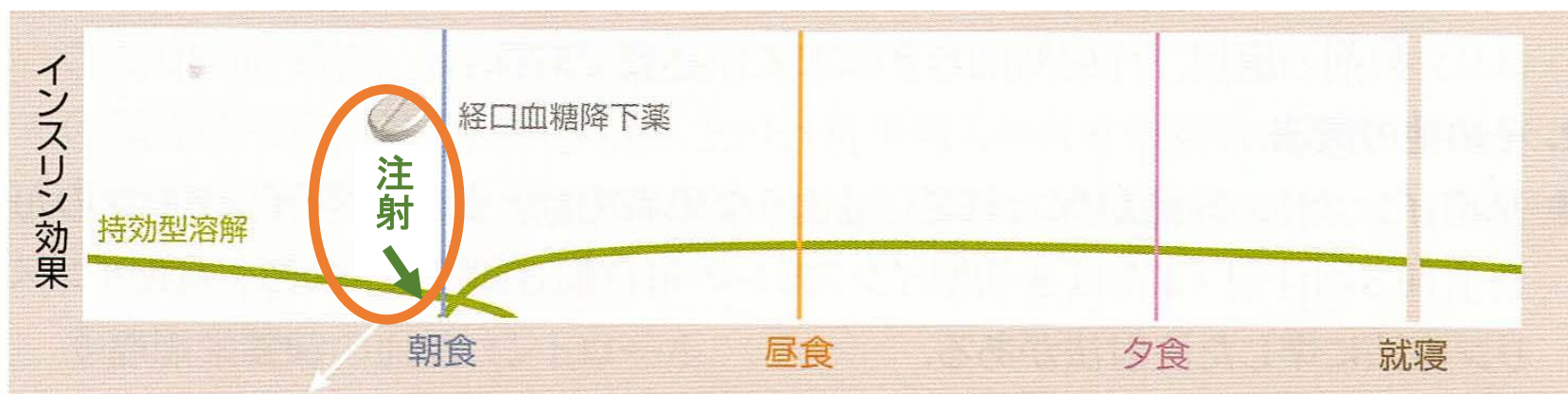
※インスリン治療患者が低血糖を起こした場合
スティックシュガーをなめさせる
砂糖水や砂糖を多く含む清涼飲料水を飲ませる
前兆段階であれば、甘いものを食べさせる

糖尿病 (Diabetes Mellitus;DM)

インスリン療法

目的； 健常者のインスリン分泌パターンを
インスリン注射で模倣する

2型糖尿病



再配布厳禁

糖尿病 (Diabetes Mellitus;DM)

インスリン投与患者の血糖自己測定 (SMBG)

インスリン投与患者には**血糖測定器を無料貸与**
糖尿病治療を示す糖尿病手帳とともに
自己管理ノートに測定した血糖値を記入し、**診療時に**
医師の指示を受ける。

糖尿病 (Diabetes Mellitus;DM)

インスリン投与患者の血糖自己測定 (SMBG)

血糖値を食前・食後や就寝前に測定すると、
血糖値の日内変動がわかり、インスリン投与量の
適否がわかる

➡慣れてくると、

自身でインスリン量を調整できるようになる

糖尿病 (Diabetes Mellitus; DM)

インスリン強化療法中

血糖変動が大きく、管理しにくい場合

——・——



インスリンポンプを使用 (機械を装着)

血糖値に合わせ、_____

糖尿病 (Diabetes Mellitus; DM)

薬

血糖_____的にインスリン分泌_____
グルカゴン分泌_____

胃内容物排出抑制作用

空腹時血糖値、食後血糖値の両方を低下

食欲_____ 体重_____

単独投与では低血糖をきたす可能性は低い

糖尿病 (Diabetes Mellitus; DM)

薬

適応

インスリン _____ 状態 (_____ 糖尿病)

特徴

SU薬, インスリン製剤との併用で低血糖の頻度 ↑

投与頻度

1日1~2回注射する薬剤と週1回注射する薬剤がある
※1日1回の内服薬もできた。